

令和6年10月16日
経済産業省中部経済産業局
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

地域企業のオープンイノベーションを促進する支援体制を強化します

中部経済産業局と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）は、中部経済産業局内にNEDOデスクを設置し、地域企業のオープンイノベーションを促進する支援体制を強化します。

1. 概要

中部地域の主要産業である自動車産業の大変革期、急速に進展するデジタル技術、多様化する社会課題、資源・エネルギー価格の高騰等、取り巻く環境が見通しづらい中で、地域の産業・経済はこれまで以上のスピードで将来を見極め、展開・変化していくことが求められています。

こうした環境において、地域の産業構造の転換や持続的な成長のためには、自身の経営資源にこだわらず他者の様々なリソースを活用した地域企業のオープンイノベーションの促進が重要です。

今回、中部経済産業局内に設置するNEDOデスクにNEDOから担当の職員を配置することで、両機関が連携して、地域企業や研究機関への双方の支援施策の情報発信、スタートアップや中堅・中小企業を含めた技術開発に取り組む地域企業等からの相談に応じ、双方の支援施策の効果的な活用促進に取り組めます。

2. NEDO デスク概要

- ・ 設 置 日：令和6年10月16日
- ・ 設置場所：中部経済産業局地域経済部イノベーション推進課内
- ・ 主な業務：地域企業や研究機関への支援施策の情報発信や技術開発等の相談対応
- ・ 連 絡 先：052-951-2774（直通）

参考：NEDO 概要

- ・ 名 称：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
略 称 NEDO（New Energy and Industrial Technology Development Organization）
- ・ 設 立：平成15年10月1日
- ・ 事業内容：経済産業行政の一翼を担う日本最大級の公的研究開発マネジメント機関として、「エネルギー・地球環境問題の解決」と「産業技術力の強化」という2つのミッションを掲げ、企業、大学及び公的研究機関による研究開発・実証に取り組む。
令和5年度にスタートした5年間の第5期中長期目標期間では、「研究

開発マネジメントを通じたイノベーション創出」「研究開発型スタートアップの成長支援」「政策立案や研究開発マネジメントに貢献する技術インテリジェンスの強化・蓄積」を3つの柱として、日本のエネルギー・環境分野のイノベーションを牽引する産学官連携によるプロジェクトの実施につなげている。

令和6年度は、昨年度に引き続き、革新的な技術の研究開発に取り組んでいる「ディープテック・スタートアップ」を対象とした実用化研究開発・量産化実証支援事業、脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム（中堅企業及び中小・ベンチャー企業は助成率2／3等）及び次世代プロジェクトシーズ発掘事業として、官民による若手研究者発掘支援事業やNEDO先導研究プログラム（新技術/未踏チャレンジ）などを実施。

- ・ 予算規模：約1,828億円（令和6年度当初予算）

※上記の他、グリーンイノベーション基金事業、ディープテック・スタートアップ支援事業、特定半導体基金事業等の基金による事業も実施。

（お問合せ先）

○中部経済産業局地域経済部イノベーション推進課 課長 前納（まえの）

担当：萩田

電話：052-951-2774（直通）

○国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構総務部統括課 課長 鷺見（すみ）

担当：松原

電話：044-520-5100（直通）

